

## 調査レポート

# アジア経済概況(2014年5・6月)

### 【目次】

#### . 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況・・・4-6月期の実質GDP成長率は+7.5%に小幅加速 ... p.1
2. 中国の主要指標解説:新エネルギー車の普及加速を目指す中国 ..... p.3
3. 台湾経済の概況・・・景気は緩やかな持ち直し基調にある ..... p.4
4. 韓国経済の概況・・・4-6月期の実質GDP成長率は+3.6%に鈍化 ..... p.5

#### . ASEAN・インド

1. タイ経済の概況・・・治安回復により景気に持ち直しの兆し ..... p.6
2. インドネシア経済の概況・・・景気の拡大テンポは一段と緩やかに ..... p.7
3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標 ..... p.8
4. ベトナム経済の概況・・・1-6月期の成長率は+5.2%に小幅加速 ..... p.9
5. インド経済の概況・・・景気に緩やかながら持ち直しの動きがみえる ..... p.10

- . アジア通貨・株価動向 ..... p.11

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子  
〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2  
TEL: 03-6733-1070

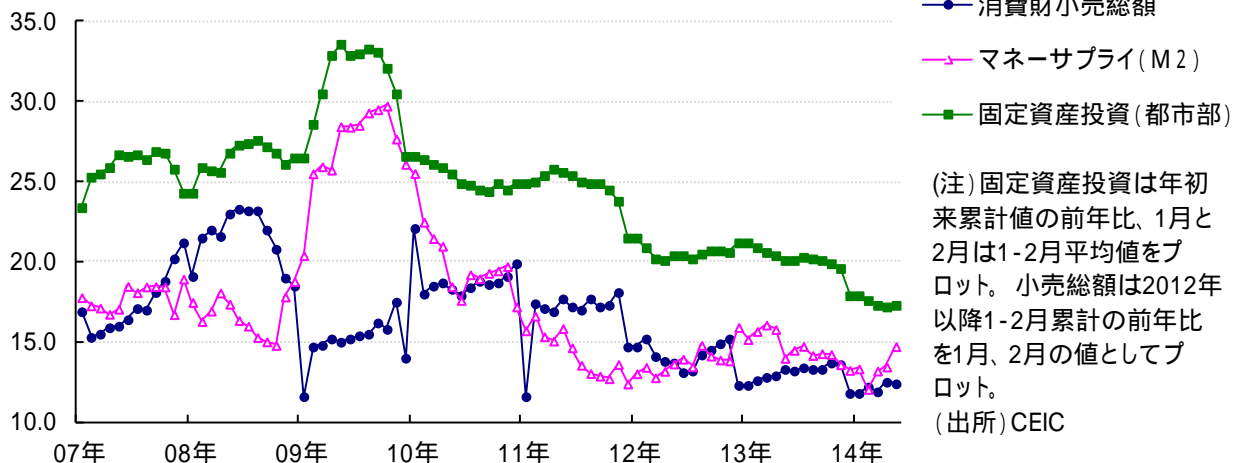
・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 景気は緩やかに回復している。
- ・ 4-6月期の実質 GDP 成長率は前年比 +7.5%と前期(同 +7.4%)から 0.1%ポイント加速した。季調済前期比では +2.0%(年率換算で +8.2%)と前期の同 +1.5%(年率換算 +6.1%)から大幅に加速した。1-6月期ベースで需要項目別の前年比成長率寄与度をみると、消費は +4.0%(1-3月期 +5.7%)と拡大テンポが鈍ったものの、投資の寄与度が +3.6%と 1-3月期(+3.1%)から拡大する一方、外需のマイナスの寄与度が 1-3月期の -1.4%から -0.2%に大幅に縮小し、成長率の持ち直しに寄与していることがわかる。4月以降に実施されたミニ景気刺激策と先進国景気の持ち直しがその要因とみられる。
- ・ 6月の製造業購買担当者指数(PMI)は 51.0と前月(50.8)から 0.2ポイント上昇した。2012年10月以降、景気の拡大と縮小の分岐点である 50を 21カ月連続で上回っており、景気が緩やかに回復していることが示唆されている。
- ・ 消費、投資、輸出、生産などの主要指標の 4-6月期実績は、消費が前期からほぼ横ばい(1-3月期前年比 +12.2% 4-6月期同 +12.3%)、投資が前期から小幅減速(1-3月期同 +17.6% 1-6月期同 +17.3%)、輸出が大幅な持ち直し(1-3月期同 -3.5%減 4-6月期同 +4.9%)、生産が前期からほぼ横ばい(同 +8.7% 同 +8.8%)という状況であった。
- ・ 6月の消費者物価は、食品価格の上昇率が 5月の前年比 +4.1%から同 +3.7%に低下したことから、同 +2.3%と政府目標(同 +3.5%)を下回る安定圏にある。4月の生産者物価は、前年比 -1.1%と依然として前年比マイナスながら、景気の緩やかな回復を反映して前月(同 -1.4%)に比べてマイナス幅が縮小している。

(前年比、%)

中国：主要経済指標の推移



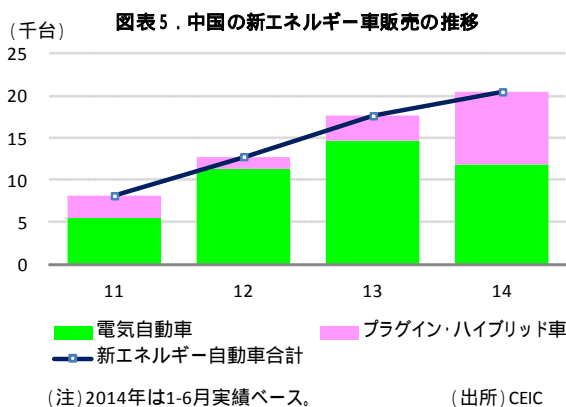
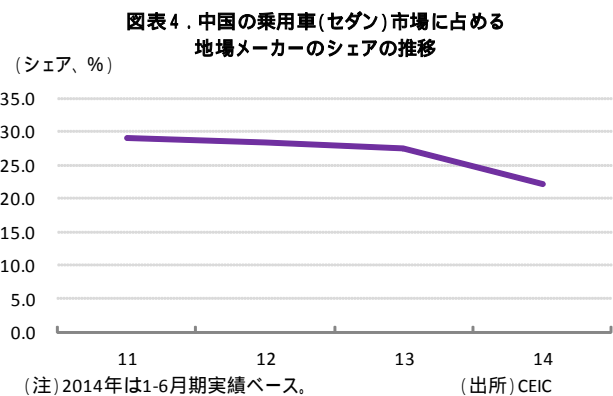
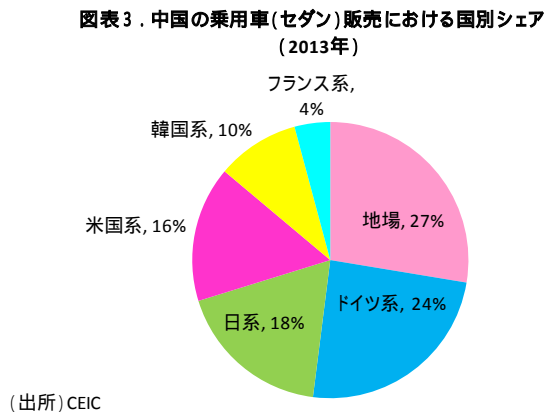
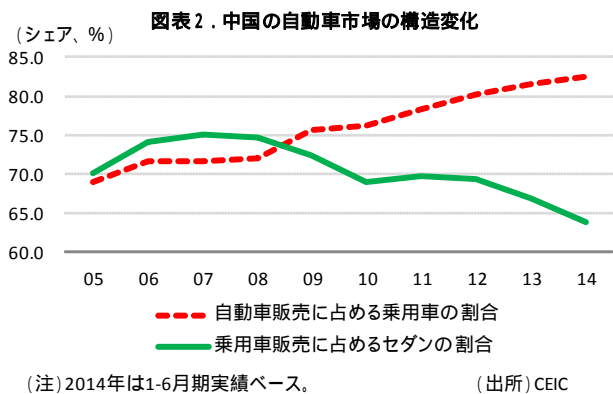
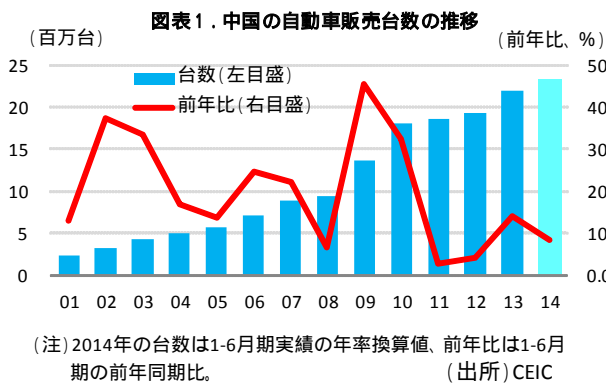
【中国・香港の主要経済指標】

			2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月	
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				1.8	2.3	1.7	1.5	2.0			
			前年比%				7.5	7.8	7.7	7.4	7.5			
		(累計ベース)	前年比%	9.3	7.7	7.7	7.6	7.7	7.7	7.4	7.4			
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	17.8	9.8	9.5	8.8	9.4	9.5	7.9	8.5			
	消費	消費財小売総額	前年比%	17.1	14.2	13.2	13.0	13.3	13.5	12.2	12.3	11.9	12.5	12.4
		うち都市部	前年比%	17.2	14.2	13.0	12.7	13.0	13.4	12.1	12.1	11.7	12.3	12.3
		うち農村部	前年比%	16.6	14.5	14.8	14.6	15.0	14.7	12.9	13.5	13.2	13.9	13.4
		自動車販売台数	前年比%	2.5	4.3	13.9	11.4	13.6	17.4	9.2	7.5	8.8	8.5	5.2
		うち乗用車(セダン、SUV他)	前年比%	5.2	7.1	15.7	10.4	14.5	20.3	10.1	12.3	11.6	13.9	11.4
		消費者自信指数	期中平均	103.3	102.4	101.2	99.9	98.3	101.4	104.0	103.9	104.8	102.3	104.7
		消費者期待指数	期中平均	106.6	106.9	105.5	103.8	102.0	105.7	108.1	107.3	107.4	105.6	108.9
		投資	固定資産投資(都市部・500万円以上;年初来累計)	前年比%	23.8	20.6	19.6	20.1	20.2	19.6	17.6	17.3	17.3	17.2
	うち不動産・居住用建物		前年比%	29.7	22.1	20.3	22.9	21.0	20.3	16.3	14.1	15.4	14.2	14.1
	うち国内企業		前年比%	24.7	21.2	20.5	21.3	21.0	20.5	19.0	18.3	18.4	18.2	18.3
	うち製造業		前年比%	31.8	22.0	18.5	17.1	18.5	18.5	15.2	14.8	15.2	14.2	14.8
	うち鉄鋼		前年比%	14.6	2.0	2.1	3.3	2.6	2.1	7.5	8.4	6.7	12.8	8.4
	うち輸送機械(自動車)		前年比%	27.2	32.8	15.0	14.4	15.4	15.0	13.1	12.1	11.3	12.9	12.1
	うち電気機械		前年比%	44.6	4.8	10.7	5.9	8.5	10.7	10.3	16.0	15.7	17.1	16.0
	うち情報通信機器		前年比%	34.2	12.9	20.2	22.4	21.7	20.2	13.3	9.4	15.1	12.8	9.4
	直接投資契約件数(累計ベース)		前年比%	1.1	10.1	8.6	9.2	9.3	8.6	0.7	3.2	0.4	1.6	3.2
	直接投資実行額(累計ベース)		前年比%	8.1	2.3	2.9	4.9	6.2	2.9	5.5	2.2	5.0	2.8	2.2
	不動産景気指数		期中平均	101.6	95.6	97.3	97.3	97.3	96.8	96.7	95.2	95.8	95.0	94.8
	貿易及び外貨準備	貿易収支	10億ドル	154.9	230.3	259.0	65.7	61.5	90.5	16.6	85.9	18.5	35.9	31.6
		輸出(ドルベース)	前年比%	20.3	7.9	7.8	3.7	3.9	7.4	3.5	4.9	0.8	7.0	7.2
		輸入(ドルベース)	前年比%	24.9	4.3	7.2	5.0	8.4	7.2	2.0	1.3	0.7	1.7	5.5
		対米貿易収支	10億ドル	202.3	218.9	215.9	51.5	60.3	63.1	38.7	58.7	17.6	21.2	19.9
		対日貿易収支	10億ドル	46.3	26.2	12.0	4.3	5.2	1.5	0.1	4.2	1.4	0.9	2.0
生産	外貨準備	期末10億ドル	3181.1	3311.6	3821.3	3496.7	3662.7	3821.3	3948.1	3993.2	3978.8	3983.9	3993.2	
	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	13.9	10.0	9.7	9.3	9.6	9.7	8.7	8.8	8.7	8.7	8.8	
	うち国有企業	前年比%	9.9	6.4	6.9	5.2	6.3	6.9	4.5	5.5	4.8	5.1	5.5	
	うち株式会社	前年比%	15.8	11.8	11.0	10.9	11.0	11.0	10.0	10.2	10.1	10.1	10.2	
	うち外商・港台企業	前年比%	10.4	6.3	8.3	7.4	7.9	8.3	7.8	7.4	7.6	7.4	7.4	
	発電量	前年比%	10.9	4.2	8.3	6.9	11.6	10.1	7.8	7.3	6.4	7.6	7.7	
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	51.4	50.8	50.8	50.5	50.8	51.3	50.3	50.7	50.4	50.8	51.0	
	うち新規受注	%	51.9	50.9	51.7	51.3	51.9	52.3	50.7	52.1	51.2	52.3	52.8	
	うち雇用	%	50.2	49.4	48.9	48.8	49.2	49.2	48.2	48.4	48.3	48.2	48.6	
	新規輸出受注	%	50.0	49.3	49.4	48.6	50.0	50.3	49.2	49.6	49.1	49.3	50.3	
所得雇用	都市一人当たり可処分所得(累計ベース)	前年比%	14.1	12.6	9.7	9.1	9.5	9.7	9.8	9.6				
	労働力市場求人倍率	期末	1.04	1.08	1.10	1.07	1.08	1.10	1.11	1.11				
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	40.4	40.8	40.3	41.8	40.9	40.3	44.2					
	物価	消費者物価指数	前年比%	5.4	2.7	2.6	2.4	2.8	2.9	2.3	2.2	1.8	2.5	2.3
うち食品		前年比%	11.8	4.9	4.7	4.0	5.3	5.5	3.5	3.4	2.3	4.1	3.7	
うち家庭設備・家庭用品		前年比%	2.4	1.9	1.5	1.6	1.4	1.4	1.3	1.2	1.2	1.2	1.2	
生産者物価指数		前年比%	6.1	1.7	1.9	2.7	1.7	1.4	2.0	1.5	2.0	1.4	1.1	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	13.6	13.8	13.6	14.0	14.2	13.6	12.1	14.7	13.2	13.5	14.7	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	3.27	2.87	3.39	4.08	3.28	3.78	2.89	2.55	2.47	2.44	2.72	
	株価指数(上海総合)	期末	2,199	2,269	2,116	1,979	2,175	2,116	2,033	2,048	2,026	2,039	2,048	
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.46	6.31	6.20	6.21	6.17	6.13	6.12	6.16	6.16	6.16	6.16	
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	4.8	1.5	2.9	3.0	3.0	2.9	2.5				
		うち民間消費	前年比%	8.4	4.1	4.3	4.7	2.7	3.6	2.0				
		うち固定資本形成	前年比%	10.2	6.8	3.3	7.6	2.7	5.3	3.0				
		名目GDP成長率	前年比%	8.9	5.3	4.3	3.6	4.6	4.4	4.6				
	消費	小売販売数量指数	前年比%	18.5	7.1	10.8	14.9	7.4	7.0	2.7		11.2	4.9	
		貿易	貿易収支	10億HKドル	426	478	503	137	119	137	124	141	55	42
	輸出(香港ドルベース)		前年比%	10.2	2.9	3.6	2.4	3.3	4.8	0.7	4.8	1.6	4.9	11.4
	輸入(香港ドルベース)		前年比%	11.9	3.9	3.8	3.5	2.7	4.4	2.1	4.6	2.4	3.7	7.6
	物価	消費者物価指数	前年比%	5.3	4.1	4.3	4.0	5.3	4.3	4.2	3.6	3.6	3.7	3.6
		金融	マネーサプライ(M3)	期末%	12.8	10.3	11.7	11.5	12.1	12.5	11.6		12.5	12.7
ハンセン指数	期末ポイント		18,434	22,657	23,306	20,803	22,860	23,306	22,151	23,191	22,134	23,082	23,191	

(出所) CEIC (注) 固定資産投資統計の対象基準は2011年以降投資計画額50万円から500万円に変更。

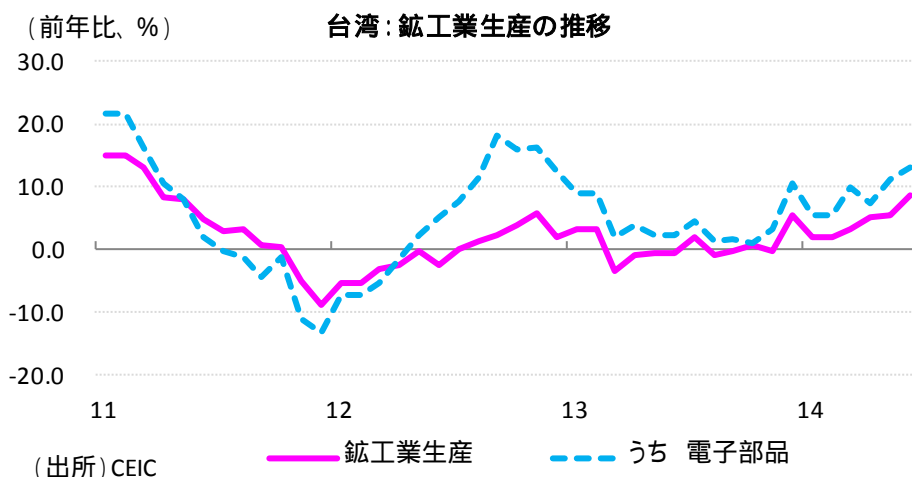
## 2. 中国の主要指標解説：新エネルギー車の普及加速を目指す中国

中国は今や年間販売台数が2000万台を超える世界最大の自動車市場である。ただ規模の拡大に伴って高成長期から安定成長期に移行しつつある(図表1)。また市場構造も商用車から乗用車へ、また乗用車の中でもセダン以外(スポーツタイプやミニバンなど)の割合が高まるなどの変化が見られる(図表2)。こうした需要の変化に応じてシェアを拡大しているのは主に外資系メーカーである(図表3、4)。そうした中で中国政府は7月に新エネルギー車の普及加速を目指すガイドラインを発表した。電気自動車、プラグイン・ハイブリッド車、燃料電池車の3種類の自動車について自動車税を免税とするほか新エネルギー車の普及に欠かせない充電インフラの建設促進などが盛り込まれている。今年1-6月期の販売台数が漸く2万台に乗った新エネルギー車の普及促進の狙いのひとつは大気汚染対策とみられる(図表5)。しかし、同時に地場メーカー育成の狙いもあるとみられる。今回、免税対象から外されたハイブリッド車に注力してきた日系メーカーは環境車市場でも今後、厳しい競争に直面することになりそうだ。



3. 台湾経済の概況

- ・景気は緩やかな持ち直し基調にある。
- ・景気の牽引役である輸出は、電子部品を中心に6月も前年比+1.2%と5カ月連続で前年比プラスとなった。輸出に先行する輸出受注は6月には中国向けを中心に同+10.6%と伸びが加速しており、輸出も当面前年比プラスで推移するとみられる。
- ・輸出の持ち直しを受けて生産も堅調に推移している。6月の鉱工業生産は、比較対象となる前年同月の水準が低かったこともあるが、主力の電子部品工業の好調から前年比+8.6%と大幅な増加となった。
- ・雇用環境の改善と株高から6月の卸小売販売指数は前年比+3.0%と堅調な伸びが続いている。一方、食品価格の上昇は続いているものの、消費者物価は6月も前月と同じ同+1.6%に止まっており、インフレ圧力の高まりはみられない。



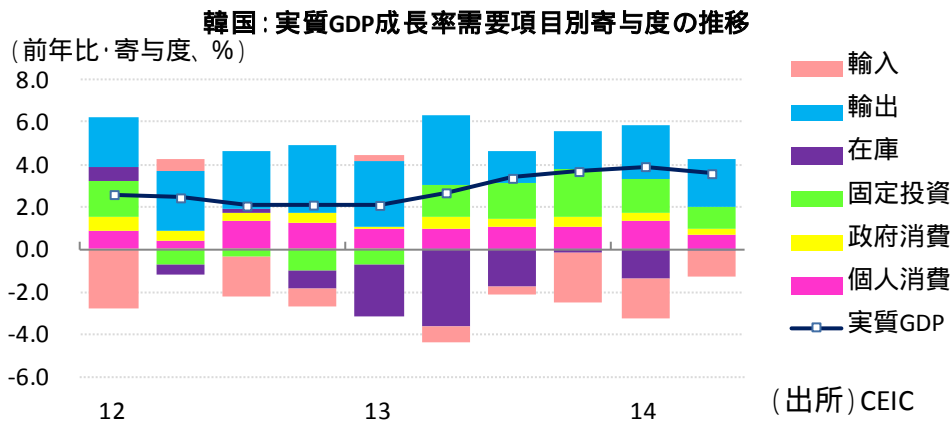
【台湾の主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.9	0.0	1.8	0.5				
	(前年比)	4.2	1.5	2.1	2.7	1.3	2.9	3.1				
	うち個人消費	3.1	1.6	2.0	2.0	1.5	4.3	2.7				
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	2.3	4.0	4.7	5.4	0.6	6.9	1.8				
生産	鉱工業生産(yoy)	4.4	0.2	0.7	0.6	0.3	2.0	2.4	6.4	5.3	5.4	8.6
消費	卸小売販売指数(yoy)	0.5	0.1	2.6	1.7	2.4	3.6	1.9	3.3	4.4	2.6	3.0
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	26.8	30.7	35.5	10.0	10.2	10.7	6.5	9.7	2.5	5.3	1.9
	輸出(yoy)	12.3	2.3	1.4	2.4	0.8	1.8	1.0	2.9	6.2	1.4	1.2
	輸出受注(yoy)	7.2	1.1	0.4	1.7	1.0	3.8	2.7	8.0	8.9	4.7	10.6
	輸入(yoy)	12.0	3.9	0.2	3.6	3.4	2.1	1.6	3.8	5.8	2.3	7.5
	経常収支(10億ドル)	41.7	50.7	57.7	14.2	15.0	17.3	15.5				
	外貨準備高(10億ドル)	386	403	417	407	413	417	419	423	421	422	423
雇用	失業率(季調値)	4.4	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.0	4.0	4.0
物価	消費者物価(yoy)	1.4	1.9	0.8	0.8	0.0	0.6	0.8	1.6	1.7	1.6	1.6
金融	M2(yoy)	4.8	3.5	5.8	5.3	5.7	5.8	5.9	5.4	6.2	6.0	5.4
	株価指数(加権指数)	7,072	7,700	8,612	8,062	8,174	8,612	8,849	9,393	8,791	9,076	9,393
	短期金利(オバーナイト)	0.34	0.42	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39
	為替レート(NT\$/ドル)	29.5	29.6	29.8	30.0	30.0	29.6	30.4	30.2	30.3	30.2	30.0
	為替レート(円/NT\$)	2.70	2.69	3.28	3.29	3.30	3.39	3.38	3.38	3.39	3.37	3.40

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・景気は沈没事故後の自粛ムードを受けて減速している。
- ・2014年4-6月期の実質GDP成長率は前年比+3.6%と前期(同+3.9%)から0.3%ポイント鈍化した。輸出(GDPベース)は前年比+3.8%と堅調に推移したものの、フェリー沈没事故後の自粛ムードから消費の伸び率は同+1.5%と前期(同+2.5%)から1.0%ポイント鈍化、前期比では-0.3%と2011年7-9月期(同-0.4%)以来11四半期ぶりの大幅なマイナスとなった。この結果、前期比年率でみたGDP成長率は+2.4%と前期(同+3.8%)から大幅に鈍化している。
- ・景気減速を受けて韓国政府と韓国中銀は、公共投資の増額や住宅ローン規制の緩和など総額41兆ウォン超の内需テコ入れ策を発表した。韓国中銀は7月10日の通貨政策委員会で14カ月連続となる政策金利の据え置き(2.5%)を決めたが、今年の成長率見通しを4月時点の+4.0%から+3.8%に引き下げており、8月14日に予定されている次回委員会では利下げが行われるとの見方が広がっている。



【韓国の主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				1.0	1.1	0.9	0.9	0.6			
	(前年比)	3.7	2.3	3.0	2.7	3.4	3.7	3.9	3.6			
	うち個人消費	2.9	1.9	2.0	2.1	2.1	2.2	2.5	1.5			
	うち固定資本形成	0.8	0.5	4.2	5.0	5.9	7.8	5.9	3.4			
	うち設備	4.7	0.1	1.5	3.9	1.5	10.9	7.3	7.9			
生産	鉱工業生産(yoy)	6.0	1.4	0.3	0.0	0.2	1.7	0.7	0.3	2.5	2.1	0.6
消費	小売売上高(数量,yoy)	4.5	2.4	0.8	1.2	0.6	1.2	2.5	0.8	0.2	1.1	1.2
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	30.8	28.3	44.0	14.4	10.8	13.3	5.2	15.0	4.4	5.1	5.5
	輸出(yoy)	19.0	1.3	2.1	0.7	2.8	4.7	1.7	3.3	8.9	1.4	2.5
	輸入(yoy)	23.3	0.9	0.8	2.8	0.3	2.5	2.0	3.2	5.0	0.3	4.1
	経常収支(10億ドル)	18.7	50.8	79.9	20.8	23.8	24.8	15.1	24.1	7.1	9.1	7.9
	外貨準備高(10億ドル)	306	327	346	326	337	346	354	367	356	361	367
雇用	失業率(季調値)	3.4	3.2	3.1	3.1	3.1	3.0	3.5	3.7	3.7	3.7	3.6
物価	消費者物価(yoy)	4.0	2.2	1.3	1.2	1.4	1.1	1.1	1.6	1.5	1.7	1.7
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	5.5	4.8	4.6	4.9	4.2	4.6	5.0		5.4	6.4	
	株価指数(総合)	1,826	1,997	2,011	1,863	1,997	2,011	1,986	2,002	1,962	1,995	2,002
	C/Dレート(3ヵ月物)	3.44	3.30	2.72	2.73	2.67	2.65	2.65	2.65	2.65	2.65	2.65
	為替レート(ウォン/ドル)	1,108	1,127	1,095	1,123	1,111	1,062	1,069	1,030	1,045	1,025	1,019
	為替レート(円/100ウォン)	7.2	7.1	8.9	8.8	8.9	9.6	9.6	10.0	9.9	10.0	10.0

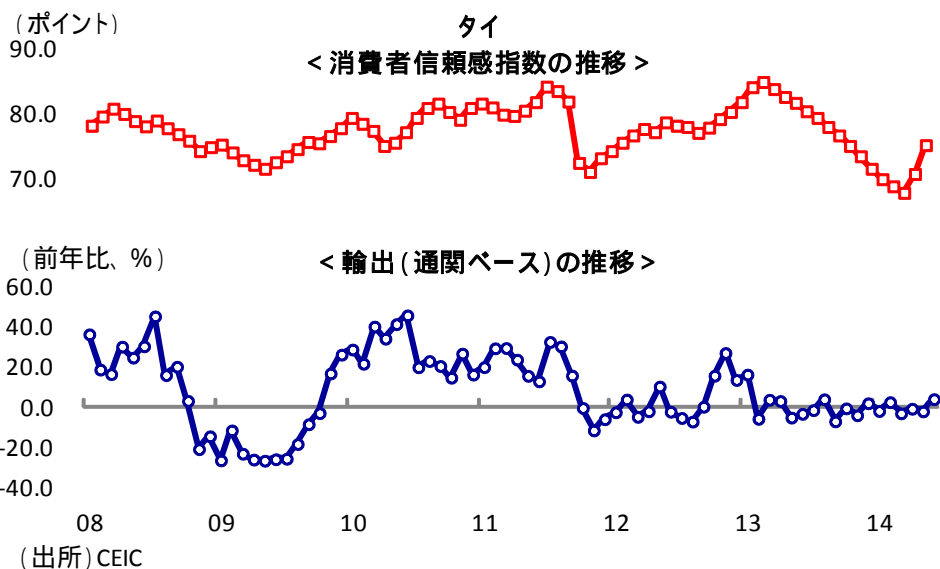
(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)



ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・治安の回復を背景に景気に持ち直しの兆しがみえる。
- ・5月22日のクーデター以降の治安の回復により民心の安定化が進んでいる。クーデター直前の4月の消費者信頼感指数は67.8ポイントと2011年11月の大洪水時(71.0ポイント)を下回る水準にまで悪化していたが、6月には75.1ポイントに改善している。こうした中で経済活動も徐々に回復してきており、6月の輸出(通関ベース)は前年比+3.9%と前月(同-2.1%)から大幅に持ち直している。
- ・今後、国家平和秩序評議会による景気テコ入れ策により2014年の実質GDP成長率は+2.5%程度に持ち直す(国家経済社会開発委員会)との見方もでてきている。



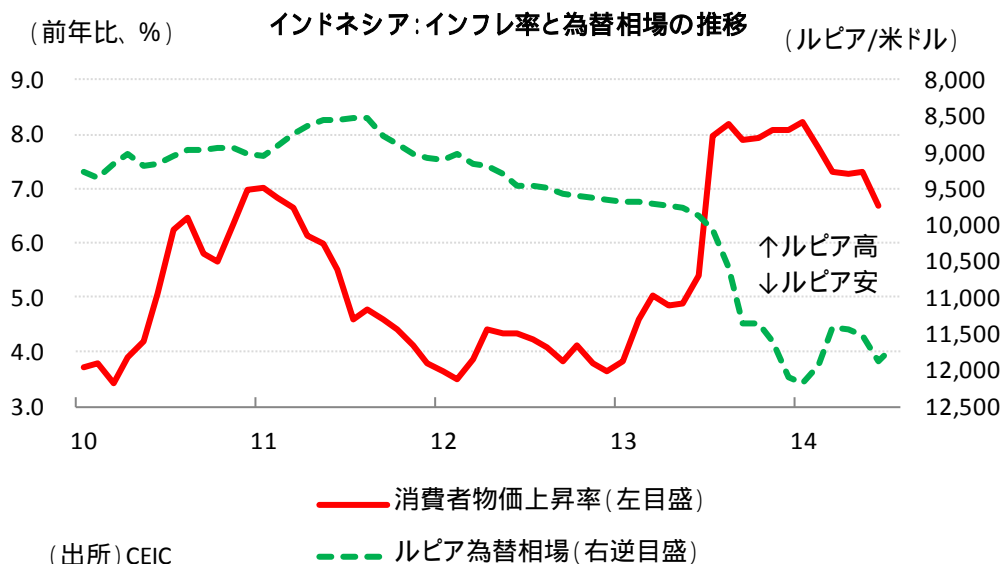
【タイの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月
GDP (yoy)	実質GDP	0.1	6.5	2.9	2.9	2.7	0.6	0.6				
	個人消費	1.3	6.7	0.2	2.5	1.2	4.1	3.0				
	総固定資本形成	3.3	13.2	2.0	4.7	6.3	11.4	9.8				
生産	製造業生産指数(yoy)	8.5	2.2	3.2	4.9	3.5	7.1	7.1		4.1	4.1	
消費	個人消費指数(yoy)	3.7	5.6	0.3	0.7	2.2	0.9	1.6		0.8	0.3	
投資	民間企業投資指数(yoy)	8.1	15.2	0.3	2.0	3.6	6.9	7.2		4.8	2.9	
輸出入 BOPベース	貿易収支(10億ドル)	17.0	6.0	6.4	1.0	5.0	3.8	6.5		0.6	1.6	
	輸出(yoy)	14.3	3.1	0.2	1.9	1.8	1.0	0.8		0.9	1.2	
	輸入(yoy)	24.9	8.8	0.4	1.0	2.9	7.6	14.8		13.8	7.7	
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.9	1.5	2.8	6.7	0.4	3.0	8.2		0.6	0.7	
	外貨準備高(10億ドル)	165.2	171.1	159.0	162.5	163.5	159.0	158.8	159.3	160.2	159.1	159.3
雇用	失業率(季調前)	0.7	0.7	0.7	0.7	0.8	0.6	0.9	1.0	0.9	0.9	1.1
物価	消費者物価(総合,yoy)	3.8	3.0	2.2	2.3	1.7	1.7	2.0	2.5	2.4	2.6	2.4
	消費者物価(コア,yoy)	2.4	2.1	1.0	1.0	0.7	0.8	1.2	1.7	1.7	1.7	1.7
金融	マネーサプライ(broad M,yoy)	15.1	10.4	7.3	10.2	7.1	7.3	6.4		5.9	4.4	
	株価指数(SET)	1,025	1,392	1,299	1,452	1,383	1,299	1,376	1,486	1,415	1,416	1,486
	インターバンク金利(3M)	3.12	3.08	2.69	2.75	2.60	2.52	2.34	2.18	2.18	2.18	2.18
	為替レート(バーツ/\$)	30.5	31.1	30.7	29.9	31.5	31.7	32.7	32.5	32.3	32.5	32.5
	為替レート(円/バーツ)	2.61	2.57	3.17	3.30	3.14	3.16	3.15	3.15	3.17	3.13	3.14

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・景気の拡大テンポは一段と緩やかになっている。
- ・製造業生産は4-5月期前年比+3.4%と1-3月期の同+3.8%から0.4%ポイント鈍化した。また6月の小売売上は前年比+11.9%と前月(同+15.0%)からさらに伸び率が鈍化した。費目別にみると、文教娯楽関係の支出が前年比-11.1%となったほか衣料品の購入も同-9.0%と減少した。
- ・一方、6月の消費者物価は昨年6月に実施された燃料補助金削減の影響が一巡してきたことから前年比+6.7%に低下した。7月に行われた大統領選では庶民派のジョコ氏の当選が確定した。新政権への期待もあり、足元、ルピア相場もやや持ち直している。インドネシア中銀は13年11月以降、政策金利を7.50%で据え置いているが、経済が安定化する中で、当面、金利の据え置きを続けると見られている。



【インドネシアの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	6.5	6.3	5.8	5.8	5.6	5.7	5.2				
	個人消費	4.7	5.3	5.3	5.1	5.5	5.3	5.6				
	総固定資本形成	8.3	9.7	4.7	4.5	4.5	4.4	5.1				
生産	製造業生産(yoy)	4.1	4.1	6.0	6.8	7.2	1.5	3.8		4.0	2.9	
消費	小売売上(yoy)	9.0	14.5	12.9	12.3	9.2	19.7	20.2	14.2	15.9	15.0	11.9
輸出入	貿易収支(10億ドル)	26.1	1.7	4.1	3.1	3.1	2.3	1.1		2.0	0.1	
	輸出(yoy)	28.9	6.6	3.9	5.8	6.9	3.3	2.5		3.2	8.1	
	(除く石油ガス,yoy)	24.8	5.5	2.0	2.1	5.6	2.6	2.3		5.4	5.7	
	輸入(yoy)	30.8	8.0	2.6	3.8	0.9	6.9	5.3		1.3	11.4	
国際収支	経常収支(10億ドル)	1.7	24.4	29.1	10.1	8.6	4.3	4.2				
	外貨準備高(10億ドル)	103.4	105.3	92.9	91.6	88.9	92.9	95.8	100.9	98.8	100.4	100.9
物価	消費者物価(yoy)	5.3	4.0	6.4	5.1	8.0	8.0	7.8	7.1	7.3	7.3	6.7
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	16.4	15.0	12.7	11.8	14.6	12.7	10.0	13.1	10.9	10.5	13.1
	株価指数(総合)	3,822	4,317	4,274	4,819	4,316	4,274	4,768	4,879	4,840	4,894	4,879
	中銀債金利(3ヵ月)	6.00	5.75	7.50	6.00	7.25	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50	7.50
	為替レート(比ア/ドル)	8,773	9,419	10,563	9,818	10,938	11,800	11,755	11,704	11,532	11,611	11,969
	為替レート(円/100比ア)	0.91	0.85	0.93	1.01	0.90	0.86	0.87	0.87	0.87	0.89	0.87

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、製造業生産は2011年より新基準。



**3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標**
**【マレーシアの主要経済指標】**

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	5.2	5.6	4.7	4.5	5.0	5.1	6.2				
	個人消費	6.9	8.2	7.2	6.8	8.0	7.4	7.1				
	総固定資本形成	6.3	19.2	8.5	5.9	9.4	6.5	6.3				
生産	鉱工業生産(yoy)	1.2	4.4	3.3	5.1	5.5	2.8	4.8		4.9	6.1	
消費	自動車販売台数(yoy)	0.8	4.6	4.5	4.3	11.0	0.9	1.4	11.2	11.9	12.7	9.2
輸出入	貿易収支(10億ドル)	40.6	31.1	22.5	2.7	5.7	8.6	8.0		2.7	1.8	
	輸出(yoy)	15.0	0.3	0.4	4.0	3.7	5.0	3.6		11.1	8.7	
	輸入(yoy)	14.2	4.8	4.9	4.0	3.6	6.4	1.4		1.7	4.5	
国際収支	経常収支(10億ドル)	33.5	17.6	12.7	0.6	3.1	4.6	6.0				
	外貨準備高(10億ドル)	120	126	122	124	124	122	118	120	118	118	120
雇用	失業率(%)	3.1	3.0	3.1	3.0	3.1	3.2	3.2		2.9	2.9	
物価	消費者物価(yoy)	3.2	1.7	2.1	1.8	2.2	3.0	3.5	3.3	3.4	3.2	3.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	14.7	9.7	8.4	9.0	8.0	8.4	6.3		6.3	5.6	
	株価指数(総合)	1,531	1,689	1,867	1,774	1,769	1,867	1,849	1,883	1,872	1,873	1,883
	1ヶ月の金利(1M,%)	2.97	3.06	3.07	3.06	3.07	3.07	3.07		3.07	3.06	
	為替レート(リキ/ドル)	3.06	3.09	3.15	3.07	3.24	3.21	3.30	3.23	3.26	3.23	3.22
	為替レート(円/リキ)	26.0	25.8	30.9	32.1	30.5	31.3	31.2	31.6	31.5	31.5	31.7

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は2013年以降2010年基準。

**【フィリピンの主要経済指標】**

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	3.7	6.8	7.2	7.9	7.0	6.3	5.7				
	個人消費	5.6	6.6	5.7	5.1	6.2	5.9	5.8				
	固定資本形成	1.9	10.8	11.9	13.6	9.5	8.0	11.2				
生産	鉱工業生産(yoy)	2.1	7.0	5.4	2.6	9.4	15.3	4.3		13.1	12.6	
消費	自動車販売台数(yoy)	15.9	10.6	15.7	12.2	14.1	10.7	22.9	26.8	19.9	23.6	37.8
輸出入	貿易収支(10億ドル)	12.2	10.0	5.7	1.2	1.9	1.6	1.9		0.8	0.7	
	輸出(yoy)	6.2	7.9	8.8	1.8	11.4	19.3	6.9		1.3	6.9	
	輸入(yoy)	10.1	2.7	0.5	0.2	7.8	0.6	12.4		3.8	9.6	
国際収支	経常収支(10億ドル)	5.6	6.9	9.4	2.1	1.9	3.7	2.0				
	外貨準備高(10億ドル)	75.3	83.8	83.2	81.3	83.5	83.2	79.6	80.7	79.8	80.2	80.7
雇用	失業率(%)	7.4	7.2	7.2	7.5	7.3	6.5	7.5	7.0			
物価	消費者物価(yoy)	4.7	3.2	2.9	2.6	2.4	3.5	4.1	4.4	4.1	4.5	4.4
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	6.3	10.6	33.4	20.6	31.7	33.4	35.5		33.1	29.9	
	株価指数(総合)	4,372	5,813	5,890	6,465	6,192	5,890	6,429	6,844	6,708	6,648	6,844
	国債(3ヵ月,%,期末)	1.56	0.20	0.00	0.90	0.87	0.00	1.000	1.035	1.440	1.346	1.04
	為替レート(ペソ/ドル)	43.3	42.2	42.4	41.8	43.7	43.6	44.9	44.1	44.6	43.9	43.8
	為替レート(円/ペソ)	1.84	1.89	2.30	2.36	2.26	2.30	2.29	2.32	2.30	2.32	2.33

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)。

**【シンガポールの主要経済指標】**

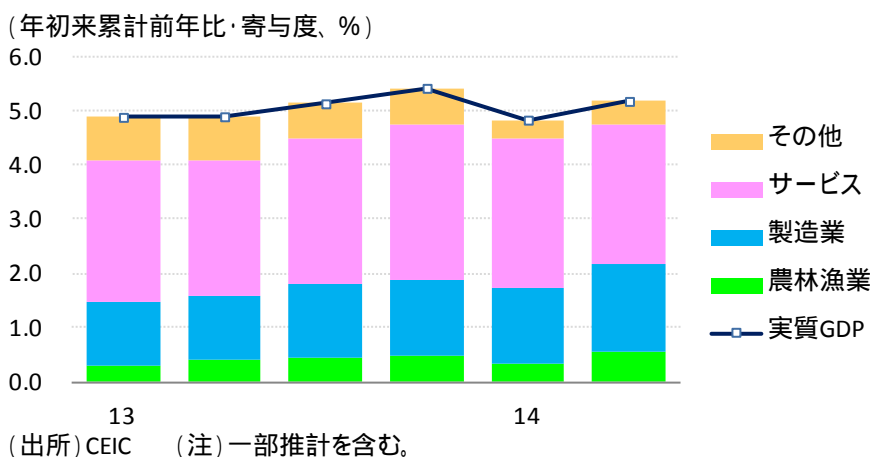
		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月
GDP (yoy)	実質 GDP	6.1	2.5	3.9	4.0	5.0	4.9	4.9				
	個人消費	4.3	3.9	2.6	2.8	2.6	2.1	2.8				
	総固定資本形成	4.3	8.9	1.9	1.8	3.4	4.6	1.1				
生産	鉱工業生産(yoy)	7.8	0.3	1.7	0.8	5.2	7.1	9.9	1.5	5.9	1.9	0.4
消費	小売売上金額(yoy)	9.7	4.6	4.8	0.3	7.2	7.8	4.2		9.2	6.0	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	43.8	28.6	37.3	10.5	9.0	10.5	8.2	10.5	3.4	2.4	4.7
	輸出(yoy)	16.5	0.2	0.5	1.0	4.0	3.7	4.9	2.4	4.1	1.5	4.7
	輸入(yoy)	17.7	3.9	1.8	2.8	4.1	0.8	4.2	2.7	4.3	1.8	1.6
国際収支	経常収支(10億ドル)	62.6	50.2	54.6	15.2	14.8	13.5	12.8				
	外貨準備高(10億ドル)	238	259	273	260	268	273	273	278	275	276	278
雇用	失業率(季調値,%)	2.0	1.9	1.9	2.0	1.8	1.8	2.0				
物価	消費者物価(yoy)	5.2	4.6	2.4	1.6	1.8	2.0	1.0	2.4	2.5	2.7	1.8
金融	マネーサプライ(M2,%)	10.0	7.2	4.3	9.1	7.5	4.3	2.0		1.4	0.2	
	株価指数(Straits)	2,646	3,167	3,167	3,150	3,168	3,167	3,189	3,256	3,265	3,296	3,256
	SIBOR(3M,期末値,%)	0.39	0.38	0.40	0.37	0.37	0.40	0.41	0.40	0.40	0.40	0.40
	為替レート(Sドル/ドル)	1.26	1.25	1.25	1.25	1.27	1.25	1.27	1.25	1.26	1.25	1.25
	為替レート(円/Sドル)	63.4	63.8	77.9	79.0	78.0	80.3	81.0	81.5	81.7	81.3	81.5

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・景気に緩やかながら持ち直しの動きがみえる。
- ・2014年1-6月期の実質GDP成長率は前年比+5.2%と2013年同期の同+4.9%を上回った。牽引役は引き続き、卸・小売、ホテル・飲食などを中心とするサービス業（同+6.0%；前年比寄与度+2.6%）である。また輸出の好調を背景に製造業も前年比+7.9%（前年比寄与度+1.6%）と堅調に推移している。
- ・1-6月期の輸出は前年比+14.1%と堅調であった。電話機・同部品（前年比+15.2%）、繊維・衣料品（同+18.7%）、靴（同+21.5%）に加えて、水産品（同+26.0%）、原油（同+15.3%）などの輸出も好調であった。
- ・6月の消費者物価は前年比+5.0%、7月（速報値）も同+4.9%と引き続き政府の目標値（同+7.0%）を下回って推移している。ただし、6月19日実施の通貨ドン（ドン）の1%切り下げ（1ドル=21,036ドン→21,246ドン）、ガソリン価格の引き上げの影響から今後徐々にインフレ圧力が強まるとみられている。

ベトナム：実質GDP成長率産業別寄与度の推移



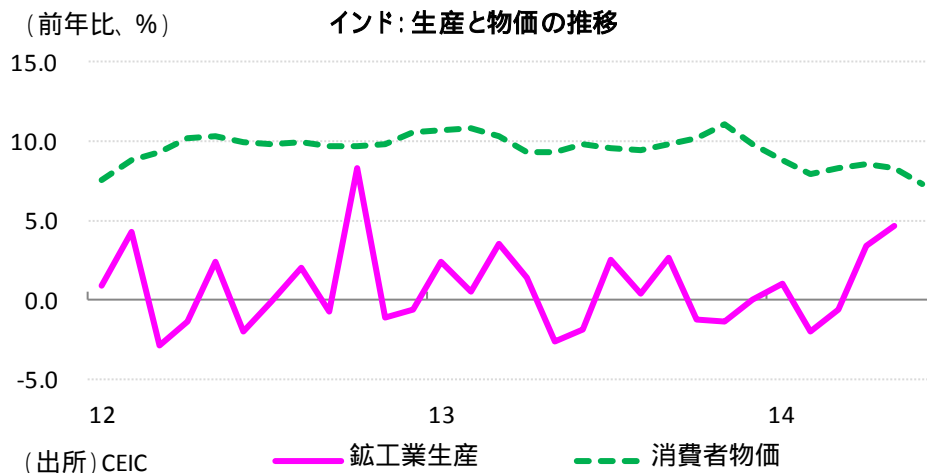
【ベトナムの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月
GDP (yoy)	実質GDP	6.2	5.2	5.4	4.9	5.1	5.4	5.1	5.2			
	農業	4.0	2.7	2.6	2.1	2.4	2.7	2.4	3.0			
	工業・建設	6.7	5.7	5.4	5.2	5.2	5.4	4.7	5.3			
生産	鉱工業生産(yoy)	33.1	4.8	5.9	6.3	5.7	6.2	7.6	6.0	6.0	5.9	6.1
消費ytd	小売売上(名目、yoy)	24.2	16.0	12.6	11.9	12.5	12.6	10.2	10.7	10.5	11.0	10.7
輸出入	貿易収支(10億ドル)	8.9	2.0	0.4	1.2	0.9	0.6	0.7	0.4	0.8	0.4	0.1
	輸出(yoy)	33.1	20.0	16.5	14.6	15.8	16.8	12.2	15.7	30.3	6.3	12.4
	輸入(yoy)	24.4	7.9	18.2	18.1	15.9	19.0	10.4	10.5	11.8	4.5	15.9
国際収支	経常収支(10億ドル)	0.2	9.1	9.5	1.5	3.9	1.7	3.3				
	外貨準備高(10億ドル)	13.1	25.2	25.5	24.5	24.0	25.5	33.3				
物価	消費者物価(yoy)	18.6	9.3	6.6	6.6	7.0	5.9	4.8	4.7	4.4	4.7	5.0
金融	株価指数(VN index)	351.6	413.7	504.6	481.1	492.6	504.6	591.6	578.1	578.0	562.0	578.1
	プライムレート(翌日物:期末)	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート(ドン/ドル)	20,547	20,828	20,949	20,897	21,036	21,036	21,036	21,106	21,036	21,036	21,246
	為替レート(円/100ドン)	0.39	0.38	0.47	0.47	0.47	0.48	0.49	0.48	0.49	0.48	0.48

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、ytd = 年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・景気に緩やかながら持ち直しの動きが見え、低成長・高インフレからの改善が徐々に進んでいる。
- ・5月の鉱工業生産は前年比+4.7%と2012年10月(同+8.4%)以来の高い伸び率となった。品目別には家具(同+60.0%)、たばこ(同+37.1%)、電子機械(同+33.7%)の生産が大幅に拡大した。また米国をはじめとする海外経済の持ち直しから輸出は5月前年比+12.4%、6月同+10.2%と二桁台での増加が続いている。
- ・一方、5月の消費者物価は食品価格(ウエイト49.7%)の上昇率鈍化から前年比+7.3%と現基準になって最も低い上昇率となった。
- ・5月に首相に就任したモディ氏率いる新政権は中期的に高成長を実現するため、インフラ整備などを中心とする2014年度(2014年4月~2015年3月)の予算案を発表した。大きな税制変更などはなく、堅実な内容というのが大方の評価である。



【インドの主要経済指標】

		2011年	2012年	2013年	13/2Q	13/3Q	13/4Q	14/1Q	14/2Q	14/4月	14/5月	14/6月
GDP (yoy)	実質GDP	7.7	4.8	4.7	4.7	5.2	4.6	4.6				
	農業生産	6.3	1.9	3.5	4.0	5.0	3.7	6.3				
	実質GDP(年度)	6.7	4.5	4.7								
生産	鉱工業生産(yoy)	4.8	0.7	0.6	1.0	1.9	0.8	0.5		3.4	4.7	
消費	新車販売台数(yoy)	5.7	9.8	7.5	7.2	3.1	6.9	6.9	1.3	9.5	2.8	11.2
輸出入	貿易収支(10億ドル)	161.6	192.9	152.2	48.1	29.8	30.8	28.2	33.2	10.2	11.2	11.8
	輸出(yoy)	33.8	2.0	5.6	1.7	12.9	7.1	2.2	10.8	9.6	12.4	10.2
	輸入(yoy)	32.6	5.4	4.9	3.3	8.2	14.9	13.6	5.9	12.3	11.4	8.3
国際収支	経常収支(10億ドル)	62.8	91.8	49.2	21.8	5.2	4.1	1.3				
	外貨準備高(10億ドル)	262.9	261.7	267.7	254.4	248.8	267.7	276.4		283.7	285.3	
物価	卸売物価(yoy)	9.5	7.5	6.3	4.8	6.6	7.1	5.4	5.7	5.5	6.0	5.4
	消費者物価(yoy)	9.6	9.7	10.1	9.5	9.7	10.4	8.4	8.1	8.6	8.3	7.3
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	16.0	11.2	14.8	12.7	13.0	14.8	13.2	12.2	13.7	13.5	12.2
	株価指数(BSE Sensitive)	15,455	19,427	21,171	19,396	19,380	21,171	22,386	25,414	22,418	24,217	25,414
	TB3ヶ月	8.06	8.41	8.81	7.45	10.99	8.74	8.97	8.69	8.86	8.65	8.56
	為替レート(ルピー/ドル)	46.9	53.6	59.0	56.8	63.5	61.9	61.5	59.8	60.3	59.0	60.1
	為替レート(円/ルピー)	1.69	1.49	1.66	1.74	1.54	1.64	1.66	1.70	1.70	1.72	1.69

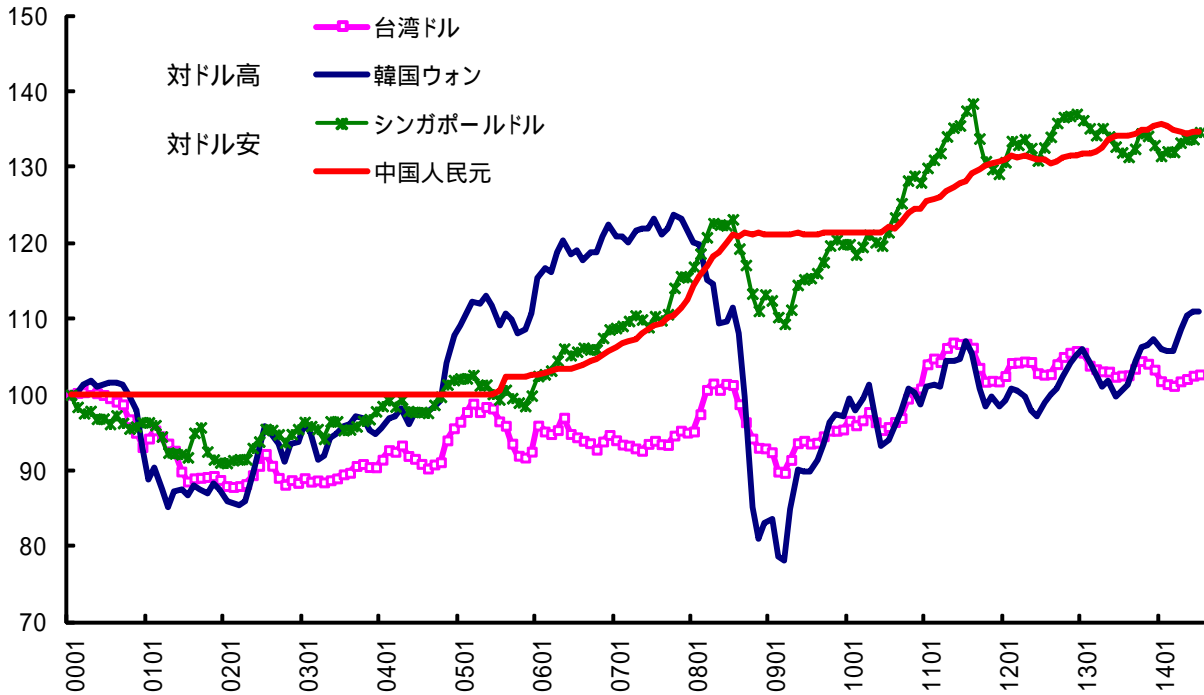
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。消費者物価は2011年から新系列。

・アジア通貨・株価動向

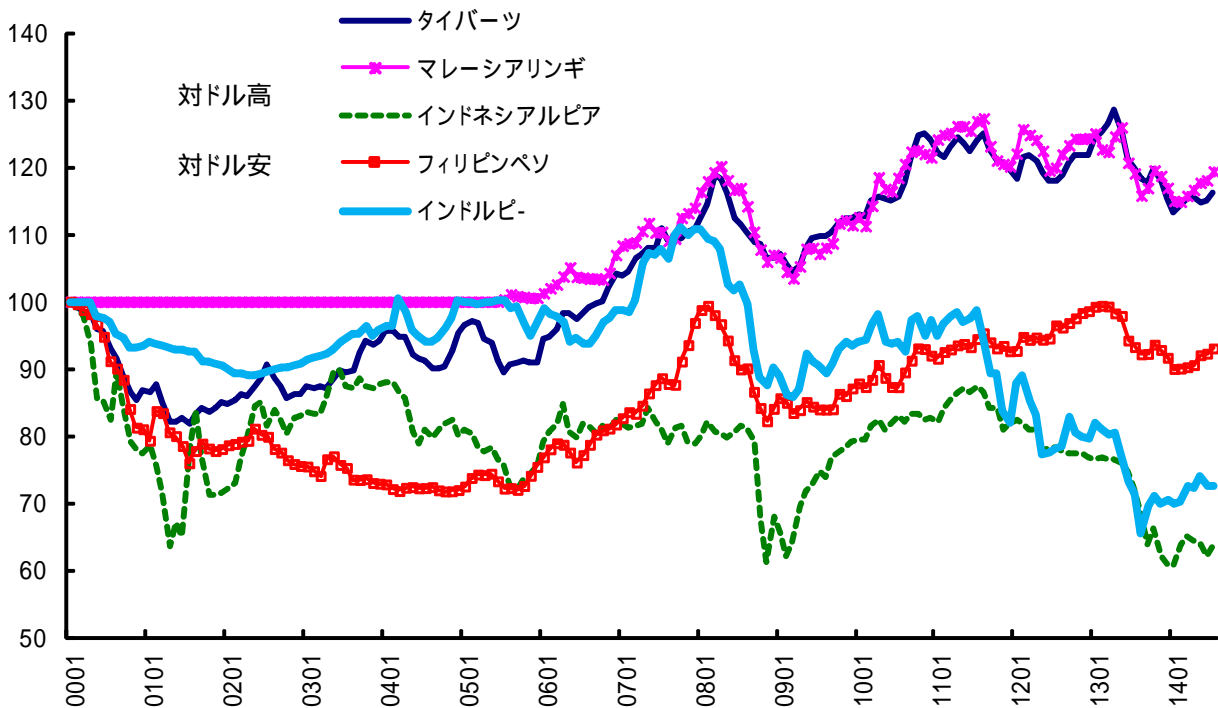
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)



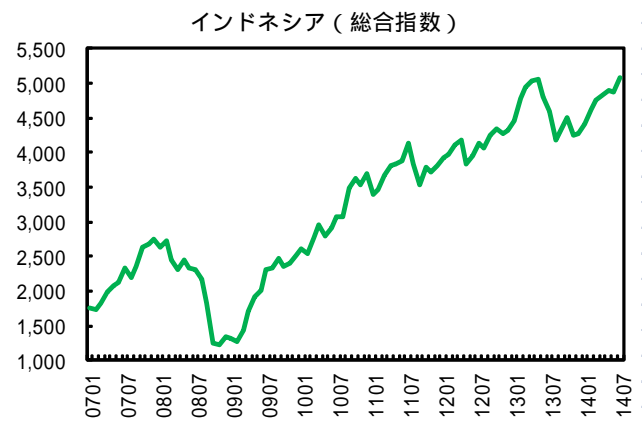
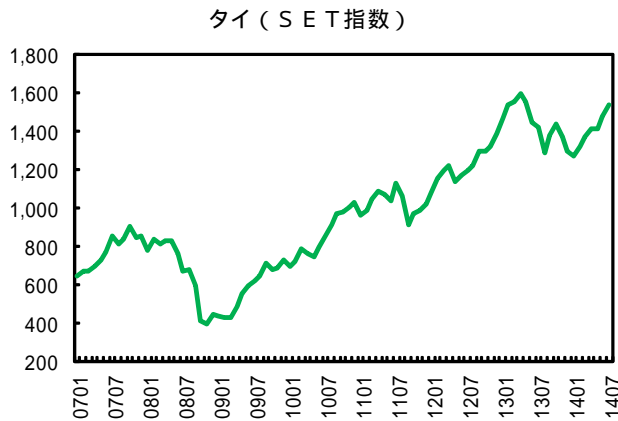
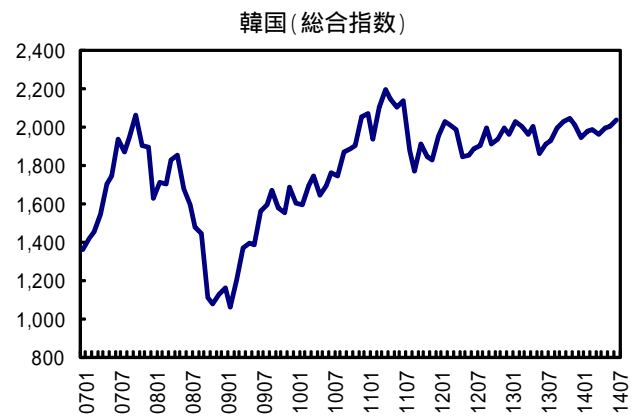
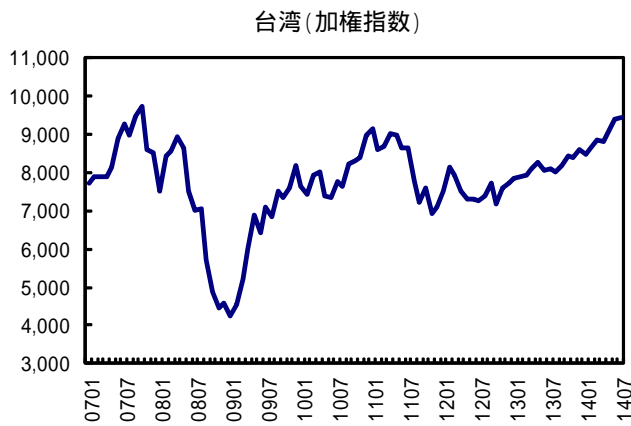
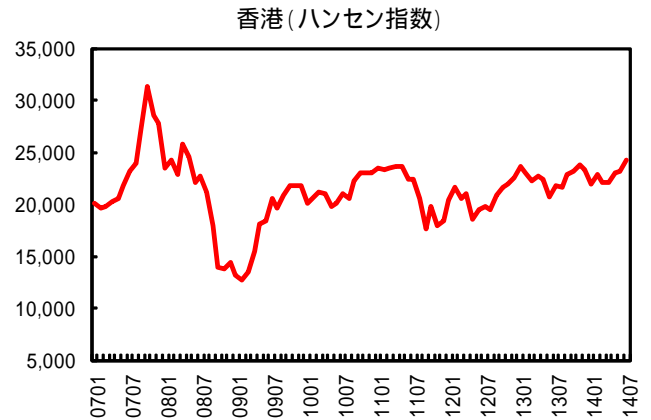
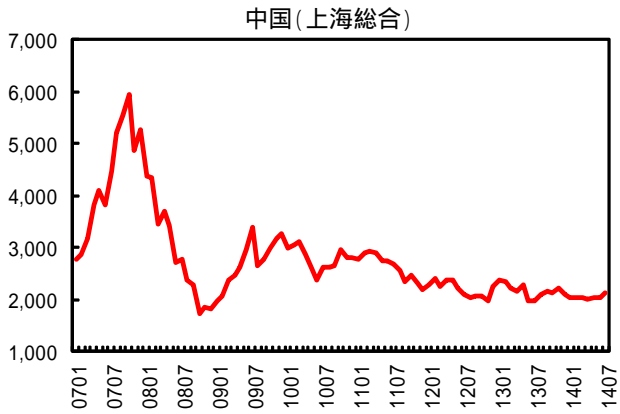
(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

(注) 直近データは7/1-25の平均値。

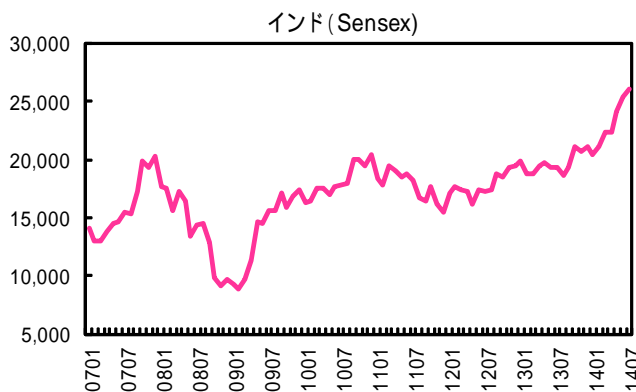
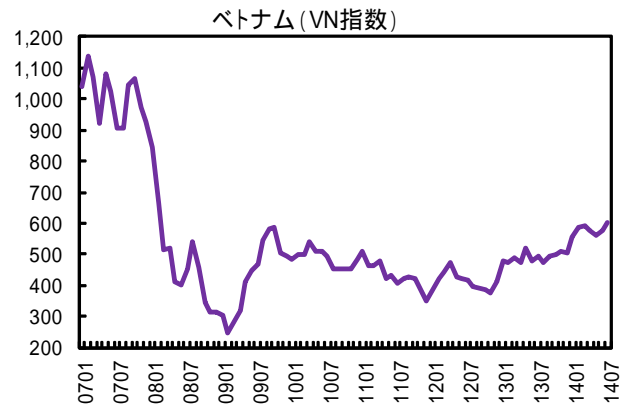
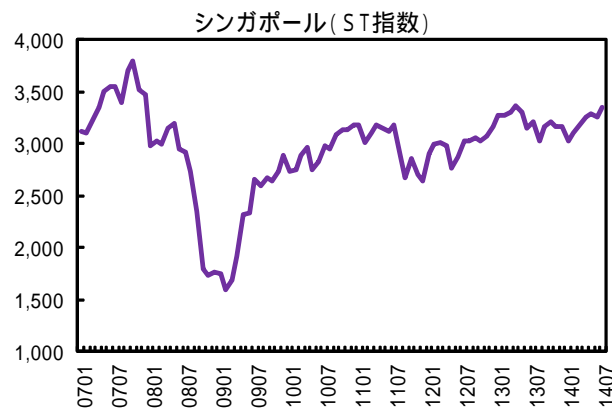
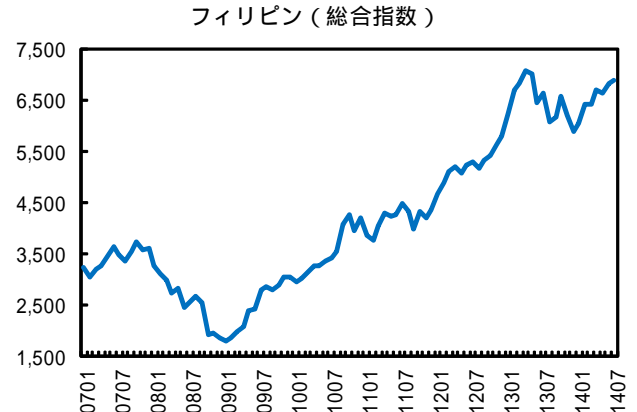
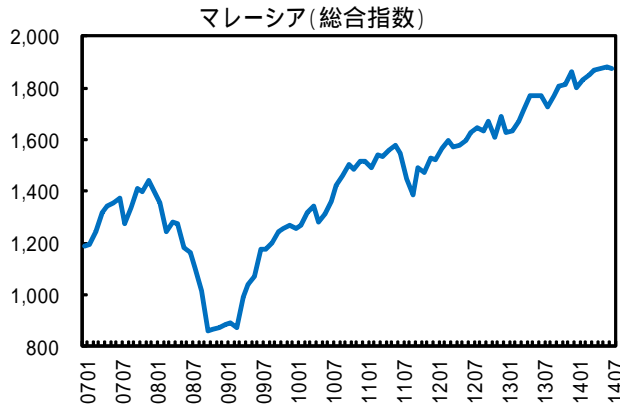
アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

(注) 直近データは7/25終値。

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC (注) 直近データは7/25終値。

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。